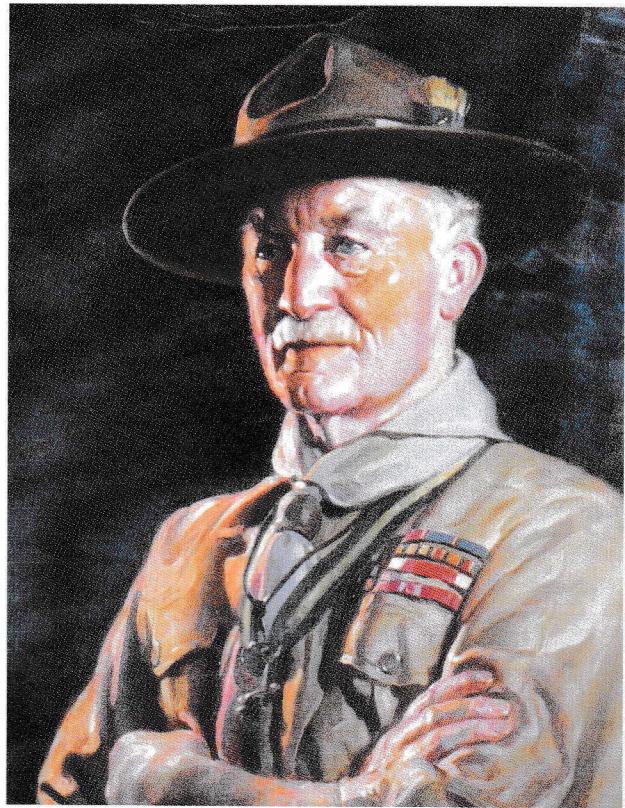


ガールスカウト新潟県支部
設立 30 年 記念誌

つなげよう未来へ



(社) ガールスカウト日本連盟
新潟県支部



創始者 ベーデン・パウエル



レディ・ベーデン・パウエル

愛の暖かさ、神を愛する心、国を愛する愛、
お互いを愛する心。私たち世界連盟の会員たちは、
地球のほうぼうに住んでいますが、
この暖かい愛でお互いに手をつないでいるのです。

— B-Pのことば —



テンダーフット

やくそく

わたくしは

ガールスカウトです。

わたくしは

よくみて よくききます。

そして

みんなと なかよくします。

やくそく

私は

神(仏)に対する

つとめを行い

地域と国と世界への

責任を果たし

人に役立つことを心がけ

ガールスカウトの

おきてを守ります。

おきて

(ブラウニー) 1. 私はいつも明るく、勇気を持ちます。

2. 私はいのちあるものを大切にします。

3. 私はすべての人の友達となり、他のガールスカウトとは姉妹です。

(ジュニア・シニア・レンジャー・成人会員)

1. 私はいつも明るく、勇気をもちます。

2. 私はいのちあるものを大切にします。

3. 私はすべての人の友達となり、他のガールスカウトとは姉妹です。

4. 私は礼儀を正しくします。

5. 私は時間と資源を大切に使います。

6. 私は自分で考え行動します。

7. 私は言葉と行いに責任を持ちます。

8. 私は誠実であるように努めます。

社団法人 ガールスカウト日本連盟
新潟県支部認可証



社団法人 ガールスカウト日本連盟
新潟県支部支部旗



つなげよう未来へ 支部設立30年記念誌 もくじ

B-Pのことば	1
JGS テンダーフット やくそく・やくそく・おきて	2
(社)ガールスカウト日本連盟 新潟県支部認可証	3
(社)ガールスカウト日本連盟 新潟県支部支部旗	3
<hr/>	
支部長あいさつ (社)ガールスカウト日本連盟新潟県支部支部長 高野桂子	5
日本連盟会長あいさつ (社)ガールスカウト日本連盟会長 東山元子	6
ごあいさつ 平山征夫 (県知事)	7
支部30年のあゆみ	
誕生から支部結成まで	8
年表	9
各団の紹介	16
新潟県支部設立30年シンボルマーク	25
[支部設立30年記念事業]	
・平山県知事とスカウトの集い!!	26
・わっくわく30キャンプ	28
(舎営)・(野営)	30
楽しかったキャンプの思い出	40
支部設立30年記念式典	48
あとがき	52

支部長あいさつ



(社)ガールスカウト日本連盟 新潟県支部

支部長 高野桂子

昭和50年12月24日、ガールスカウト日本連盟新潟県支部が誕生いたしました。当日は日本連盟から高山副会長と三角組織委員長が来県され、初代支部長大井ヒデ姉に認定証と支部旗の授与がありました。

昭和24年からガールスカウト活動を続けておりました人達にとりましてこの日は大きな意義ある日で、ここで「一人前になったと言う証」を頂き大変感激いたしました。

日連の方々をお送りするのに玄関を出た時、冬の空にきれいな月が輝いていたのを昨日の事のように思い出されます。

あれから30年経ちました。ここに支部設立に携わり御協力くださった行政、地域の方々、賛助会員の皆様またガールスカウト活動に関わってこられた人達のお力で今日を迎えたものと深く感謝申し上げます。

これまで順風満帆で活動してきたわけではありませんが、節目、節目の年にはいろいろの行事をして参りましたが、今年は、30年を記念して三つの事業を計画いたしました。◎戸隠キャンプ（8月）◎記念式典（10月）◎記念誌の発行です。

戸隠キャンプでは記録に残る豪雨の中をスカウトたちは一人も落伍する事なく元気に帰って参りました。このことはスカウトたち、指導者にとって大きな自信になったと思います。記念式典もスカウトたちと若いリーダーが中心となって立派に成功させました。

創始者、ベーデンパウエルは、次のような言葉を残しております。
『ボーイスカウト運動とガールスカウト運動とを較べた場合、実のところガールスカウトのほうが大切な事を認めざるを得ない、それはガールスカウトこそ将来の少年の母であるから』という風に言われています。

私たちは、この30年を節目に更に未来へ第一歩を踏み出し、ガールスカウト活動を継承することに努力して参ります。今後とも皆様方の御指導ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。



日本連盟会長あいさつ

(社)ガールスカウト日本連盟

会長 東山元子

新潟県支部のみなさま 本日は支部設立30年記念を迎られほんとうにおめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。同時に関わってこられました多くの先輩諸姉、現支部役員の方々のこれまでのご努力・ご尽力に対し、厚く感謝の意を表します。

この8月には戸隠ガールスカウトセンターにて記念キャンプを支部をあげて挙行なさった由伺いました。指導者の皆様方のきびきびした動き、次の世代を支える方たちの確かな歩みが感じられたとても良いキャンプであったことも伺いました。日本連盟よりお願いいいたしましたウェストン祭のご協力を快くお引き受けくださり、この場をお借りして御礼申し上げます。新潟県支部の熱心なお働きにより、今年最後となります戸隠村としてのガールスカウトとの協賛事業となり、成功裡に終わりましたこと感謝申しあげます。

思い出に残る大きい事業を心を合わせ成し遂げられましたことは、これから40年、50年と歴史を重ねてまいります時に、その事がスカウトにとっても成人にとっても大きな成長の節目であったことがきっとお判りになるでしょう。樹木と同じように私たちの活動もこのような節目によってはかられるものかもしれません。この年輪を作るために私たち成人は少女のために日々愛情を注ぎ、楽しくともに活動をし、水や肥料となり続けて見守ります。1本の樹がすくすくと育つとしてもそこに私たち大人がいた証しは見えません。それでも樹木が立派に育ち年輪が重なるのです。この樹が少女だといいたしますと私たちのしていることの意味が見えてきます。

このような場でお名前をもうしあげますのは失礼かともぞんじますが、今から20年ほど前、小林美代子様が日本連盟の指導者委員長でいらしたとき一実行員であった私は事業の後の反省会が始まります時に開口一番「反省は自分自身のことをきっちり反省しましょう」とおっしゃったことが未だに私の心に生きつづけて、その時以後何回となく開かれる反省会で私は自分をいつも省みることにいたしました。ともすると他の人の反省をしたくなるものです。このようなエピソードはガールスカウトの仲間の間ではたくさんあることですが、私たちは少女ともどもこのようにお互いの声かけ、心がけが人を育て、励まして個々の成長の手助けをしてきたのだと思います。それが1本の樹、或は1人の少女の年輪となってきたのだだと考えますと、私たちのしていることの大切さ、素晴らしいが見えてまいります。30年を節目にこの運動を問い直し、誇りと自信をもって皆様が新たな出発をなさいますようお祈りいたします。

最後になりましたが、いつも指導いただきます行政、他団体、ボーイスカウト新潟県連盟、地域の方々のご指導・ご協力に感謝申しあげます。これからも長く新潟県支部のよき理解者として、ご支援賜りますようお願い申しあげます。また皆様方のご多幸をお祈りし簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



平山 征夫 (県知事)

本日は、ガールスカウト新潟県支部設立30年記念を迎えられて、まことにあめでとうございます。昭和50年に結成されて以来新潟県内の各地域で永年にわたりましてガールスカウト活動が活発に行われました。そして、このガールスカウト活動をとおして、多くのメンバーが成長され、社会人となって巣立っていかれました。青少年の健全育成という立場から言いましてもそのご尽力に対する成果は多大なものがあったと、心から敬意を表するとともに感謝を申し上げたいと思います。

現在世界、約144カ国で、1000万人、日本で75000人の方が「自己開発」「人との交わり」「自然と共に」を活動のポイントとして各地で、活発な活動をしておられるわけです。

近年、社会が急激に変化して地域の連帯が失われたり、ややもすると、いじめ、非行、青少年犯罪、虐待、等々、子ども、家庭、そして地域をめぐる問題が報道されておりますけれども、深刻化しております。このことに対する憂慮すべき問題提起もされておりますけれども、なかなか解決がなされません。

そして、もう一度こういう問題に対し、地域からなにをすべきか問われています。

家庭、学校、地域、関係団体が連携して健全な青少年育成に何をすべきか考えなければならないのだと思います。そのために、やはり子供達が自立できるようにする、こうした活動をきちんともう一度地域で作り上げていく必要があると思います。

その一つが、ガールスカウトでありボーイスカウトであると思います。

ガールスカウト活動を通じて成長される事は、きわめて意義のあることだと思います。皆さんもおそらく大きくなった時、ガールスカウト活動をやっていてよかったです。あの時得た友達の付き合いは多分一生でしょう。そしてここで受けた訓練がどれだけ皆さんのがこれから自立のために自信を与えてくれる事でしょう。あとで多分わかると思います。どうかこうした取り組みを、より一層時代に活発にするために、関係の皆様からお力添えを頂きたいと思います。

ガールスカウト日本連盟新潟県支部のみなさんのご活躍がこれからも更に是非必要であるということを申し上げたいとおもいます。

今日この記念式典を契機に明日からまたガールスカウト活動が一層盛んになりますよう、期待をして参りたいとおもいます。将来の新潟県、将来の日本を支える女性達。そして将来の世界を支え、平和な世界を作るために立派な日本人がこのガールスカウト活動から私は一人でも多く育っていくことが期待されることだと思います。

支部30年のあゆみ

=歴代支部長=



大井ヒデ
(初代)



小林美代子
(二代)



高野桂子
(三代)

—誕生から支部結成まで—

昭和22年、新潟県に初めてのガール・スカウトが柏崎市往相寺に産声をあげた。翌23年に日本連盟が発足し、県内では柏崎に2団、西蒲原郡黒崎村に2団、北蒲原郡岡方村、高田市と合計6団100名のスカウトが登録された。その後24年15団287名、25年16団303名と増え29年には19団254名まで達した。戦後の混乱期の中での青少年育成活動は、子供たちに明るく楽しい場を与えた。しかし、この年をピークに減少の一途を辿り、29年には2団18名になってしまった。その後、少しづつ、増えてはきているが、低迷期が10年程続いた。39年頃よりスカウト活動も見なされたのか、その増加も急激となり42年には15団248名までに盛り返した。

39年6月の新潟地震には、世界連盟よりお見舞金をいただき、スカウトたちは世界の一員である事を改めて感じた。

県内あちこちで、バラバラに活動していたガールスカウトは次第に組織化の必要性が叫ばれ、大井ヒデ（初代）支部長を会長として40年に県推進会となった。42年日連より三角信子講師を迎えて初めてのリーダー研修会が開かれた。

支部未結成県である為、数々の悲哀を感じ、支部結成への動きが高まり、ただ1人のトレーナー（小林美代子前支部長）のもとで、数回のリーダー養成講習会が開かれ、50年7月に、ようやく10団576名を数えるまでになり、同年12月24日、社団法人ガール・スカウト日本連盟新潟県支部として認証された。

翌年5月23日の記念式典に集まったスカウトたちの喜びに満ちあふれた笑顔は忘れることができない思い出である。

昭和50年
[1975]

12月24日

社団法人力ガールスカウト日本連盟新潟県支部に認可される。

団数10団 スカウト数576名

昭和51年
[1976]

5月23日

支部結成記念式典及び記念パレード 新潟市公会堂にて式典・古町通りをパレード

記念誌「ガールスカウト新潟、支部設立記念号」発刊



昭和52年
[1977]

トレーナー5名誕生

新生支部を示すものとして期待される。

8月

5~8日

第1回新潟県支部キャンプ

戸隠キャンプ場 ジュニア以上149名参加



昭和53年
[1978]

8月

10~24日

小林美代子副支部長、リーダートレーナーのサンガム研修の団長として参加

10月8日

支部結成3周年記念ラリー：新潟市 507名参加

昭和54年
[1979]

9月24日

ガールスカウト会議：長岡市 222名参加

昭和55年
[1980]

- 7月20日 県内青年会議：長岡市 20名参加
- 8月
- 4～8日 ガールスカウト60周年記念全国キャンプ：戸隠キャンプ場 レンジャー 2名参加
- 12月20日 支部結成5周年記念成人の集い：新潟市 38名参加

昭和56年
[1981]

- 2月28日 シンキングデーのつどい：長岡市 150名参加

昭和57年
[1982]

- 6月10日 ガールスカウト会館建設募金始まる。各団でバザーなど募金活動進める。(60年まで)
- 8月
- 17～20日 第2回新潟県支部キャンプ：柏崎市
シニア・レンジャーリーダー73名参加



昭和58年
[1983]

- 10月19日 成人会議：新潟市 32名参加

昭和59年
[1984]

- 3月5日 待望の事務所引越し。長い間借り生活から脱す。現在に至る。
- 8月
- 8～11日 北関東地区合同キャンプ大会：戸隠キャンプ場 45名参加



昭和60年
[1985]

- 7月
- 6～7日 地区開拓委員講習会：16名受講

昭和61年
[1986]

- 5月
- 10～11日 支部結成10周年記念キャンプ事前
訓練キャンプ：新潟市 223名
- 4月29日 支部結成10周年記念式典
新潟市 700名参加
- 7月
- 26～28日 支部結成10周年記念キャンプ
戸隠キャンプ場 442名参加
(プラウニー)
(ジュニア)
- 25～28日 ～ふかめよう みどりの大地
(シニア)
(レンジャー)
広げよう友情の輪～



昭和62年
[1987]

9月23日 年長集会：長岡市 56名

昭和63年
[1988]

1月10日 レンジャー国際交流の集い：新潟市 32名参加

5月8日 ガールスカウトラリー：柏崎市 539名参加



8月

3~11日 アメリカスカウトホームステイ：5名
ウェルカムパーティー：82名

平成元年
[1989]

3月

26~28日 北関東地区レンジャー交流：新潟市

8月

17~20日 第3回 支部レンジャーキャンプ：妙高高原 22名参加
ボイスカウトキャンポリー会場

平成2年
[1990]

4月29日 ふれあいフェスティバル

各地区 8会場

5月27日 約1,000名参加（一般も含む）

8月

1~8日 第4回支部レンジャーキャンプ
(第10回B.S日本ジャンボリー)
妙高高原 38名参加

12月

22~30日 インドサンガム研修旅行：33名参加



平成 3 年
[1991]

5月12日 ふれあいフェスティバルレインド・デイ
長岡市厚生会館 529名参加



平成 4 年
[1992]

H 3 開発教育プロジェクト(日連)
12月19日 バングラデシュ：9団 原山 祐花
ネパール：23団 福田 恭子
1月 2 日

平成 5 年
[1993]

8月
4～6日 第6回支部キャンプ
(舎営) 国立妙高少年自然の家
3～6日 274名参加
(野営)
10月27日 第1回成人ギャザリング：新潟市万代市民会館 48名参加



平成 6 年
[1994]

ピースパック送付 23個

内容物リスト

- ①ノート 4冊 (B5サイズ)
- ②スケッチブック 2冊 (A4サイズ以内)
- ③鉛筆 6本
- ④鉛筆削り 1個
- ⑤消しゴム 2個
- ⑥ボールペン 2本 (色の指定なし)
- ⑦定規 1本 (長さ30cm以内の細長い定規)
- ⑧色鉛筆セット 1箱 (12色セット/クレヨン可)
- ⑨車のおもちゃ 1台 (ミニカー)
- ⑩歯みがき粉 1個
- ⑪歯ブラシ 1本
- ⑫洗面タオル 2枚
- ⑬なわとび 1本
- ⑭メッセージ (文字のみ)



平成15年まで10年間続く

8月 '94 シニアサマーギャザリング in 直江津
19～20日 上越市五智公園キャンプ場 26名参加

平成 6 年
[1994]

8月

27～28日 支部レンジャー・ギャザリング：新潟県立青少年研修センター 20名参加

3～7日 第11回B.S日本ジャンボリー：大分県久住高原 14名参加

9月18日 平和ラリー：新潟市西海岸公園 自由広場 160名参加

10月

8～10日 北関東地区ギャザリング：国立妙高少年自然の家 51名参加



平成 7 年
[1995]

2月5日 成人ギャザリング：新潟市大畠少年センター 52名参加

10月1日 Sasadango の会発足：新潟市万代市民会館 22名参加

22日 支部20周年記念式典・ラリー：新潟市大畠少年センター 394名参加

平成 8 年
[1996]

3月3日 支部20周年記念講演会：県立生涯学習推進センター 76名参加

23日 B.S連盟長を囲む代表スカウトの集い：県立生涯学習センター 14名参加

(B.Sポーチャー'96海外派遣参加者)

7月24日 B.Sポーチャー'96海外派遣

（イタリア、スイス、フランス、イギリス 21名参加）

8月14日

9月16日 平和のつどいふれあいフェスティバル：新潟市古町モール 202名参加

平成9年
[1997]

- 3月22日 レンジャー集会：入徳館野外研修場（巻町峰岡） 9名参加
6月22日 薬物乱用防止キャンペーン：古町モール 9名参加
7月20日 「海の日」パレード：新潟ふるさと村 30名参加
10月
10~12日 平和のつどいふれあいフェスティバル
新潟会場 産業振興センター
長岡会場 ハイブ長岡



平成10年
[1998]

- 9月15日 平和のつどいふれあいフェスティバル：全国都市緑化にいがたフェア会場 316名

平成11年
[1999]

- 8月
3~5日 北関東地区ギャザリング：県立青少年研修センター 74名
9月15日 平和のつどい（ふれあいの日）：新潟市古町モール 361名
7月24日 げんきわくわく体験活動事業
一般参加人数59名
8月22日
10月30日 UKガイド招へい事業
UKガイド 6名招へい
11月4日



平成12年
[2000]

- 6月3日 県知事とスカウト運動を語る会：新潟市大畠少年センター 38名
8月
3~6日 支部キャンプ（B.S50周年記念キャンプに合流）
新潟県少年自然の家 217名

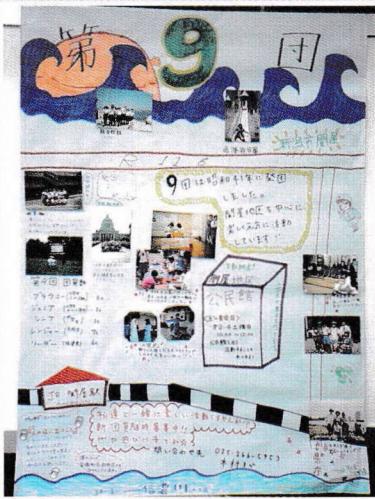


各団の紹介

第8団 新潟市



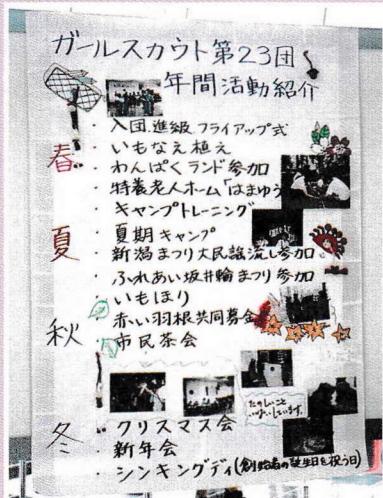
第9団 新潟市



第10団 新潟市



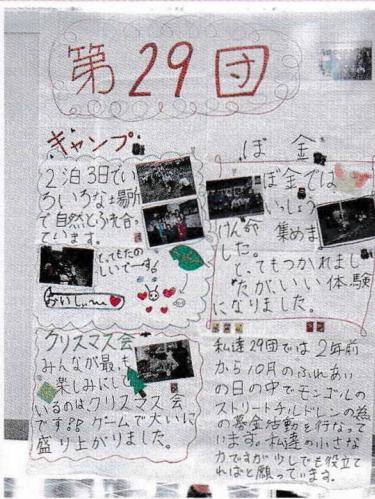
第23団 新潟市



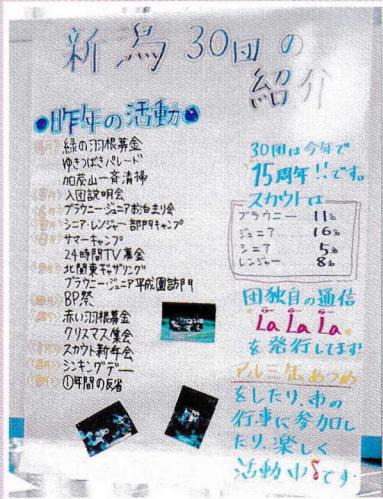
第17団 上越市



第29団 上越市



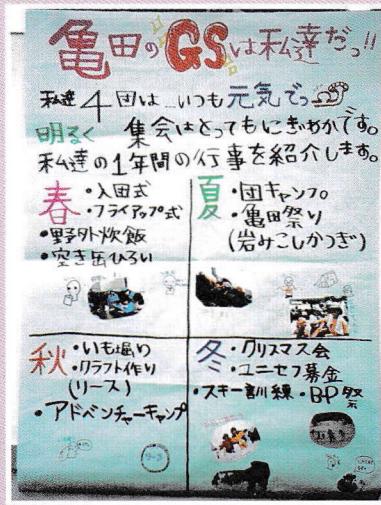
第30団 加茂市



第11団 新潟市



第4団 亀田町



第18団 卷町



第8団 新潟市
第9団 新潟市
第10団 新潟市
第11団 新潟市
第23団 新潟市

第4団 亀田町

第22団 新津市
第30団 加茂市

第20団 柏崎市



第15団 長岡市



第19団 長岡市



ボーイスカウトと楽しく
キャンプや集会をやっています。

第1団 柏崎市



第1団

柏崎市市民プラザ



私たち1団は、昭和24年、新潟県で一番目に生まれた団です。ここと57年目を迎え、77名の会員と共に、活発に活動しています。笑顔いっぱいのリーダーが、私達と一緒に、キャンプや、集会をしています。

「何でもチャレンジ」を目標に、一人一人が生き生き、のびのびと活動しています。

今、集会で編物にチャレンジしています。モチーフをつないで、ひざ掛けにし、中越地震で被災された、北条の老人世帯に贈りたいと思っています。

市内の小学校で「何かいいことしよう」というテーマに、ジュニアのスカウトが、支部のプルタブ集めを紹介し、それが学校全体の取り組みとなり、沢山のプルタブをいただいて来ました。集会で在柏のコスタリカの人から、お料理を教えてもらい、その国の話を聞きました。私達の活動が、地域に根ざし、世界の人々にも目を向けた活動になればいいと思っています。

第4団

亀田町公民館



私達は主に、第2・第4土曜日の午前に、亀田公民館で集会をしています。

活動の中でも一番楽しい事は、キャンプです。

亀田のボイスカウトと一緒にします。

冬には、ユニセフ募金とクリスマス会。私達の集めたお金が人の役に立つと思うと、寒くても一生懸命に募金をお願いしました。スキー訓練もあります。

4団ではシニアになると、アドベンチャーキャンプがあります。自分達で集合から解散まで全部のプログラムをたて、自分達の力で1泊2日のキャンプをします。

今、4団はスカウトの人数が少なく、ちょっと寂しいけれど、みんな仲が良いです。

これから新しい友達が増えてくれるのを楽しみにしています。

第8団

新潟市あさひ幼稚園



昭和41年9月、第8団は新潟市内7、8、9、10団と共に合同で発団式を挙げました。それから40年近く、団委員長も大井ヒデ、安倍巳栄、山作令子、登坂美江子（現）と4代変わりましたが、集会場は最初から現在も、旭町通二番町のあさひ幼稚園にあります。あさひ幼稚園長小林美代子がリーダーの資格をとり、近所の少女を集め、津野ミエさんら開拓委員の応援を得て、大井ヒデさんから団委員長になって頂いて発足したのです。現在ブラウニー8名、ジュニア9名、シニア4名、リーダーと成人会員含めて合計32名が、月2回の集会を楽しみ、ガールスカウトとして成長を続けています。活動の記録として、「ブラウニーこの一年」（平成6年）、「国際感覚と未知への挑戦」（平成8年・発団30周年記念、スカウトのハワイ研修）、「戸隠それぞれの挑戦」（平成9年・キャンプ報告）を刊行し、平成11年度より毎年度、集会活動アルバムを作成し、思い出に残しています。

第9団

新潟市関屋地区公民館



昭和41年9月に発団し、今年で40回目の登録票届けの時期を迎えた。

発団時登録票の冒頭正リーダーは松尾秀子姉、現在の筒井団委員長です。発団時、スカウト25名、成人会員10名で35名でした。昭和48年119名、52年130名、53年23団を分団して85名、平成16年は36名です。

活動の拠点は関屋地区公民館、浜浦小学校、年長リーダー宅等です。

節目の年には、会津旅行。スカウト会館とディズニーランド見学。オリンピック青少年総合センターに宿泊し、東京の団と交流し、国會議事堂、NHKの見学をした。昨年は戸隠キャンプセンターに行きネイチャーゲームを楽しんだ。どれも心に残る体験でした。

9団全体で行う入団式、クリスマス会、総会、バザーは全会員と保護者が役割をもって行い、運営に役立てています。明るく元気なスカウトやリーダーの誕生を切望しています。

第10団

新潟市万代長嶺小学校



第10団は、昭和41年に東新潟地区一帯を拠点として活動を始め、昭和54年に11団との分団を経て、今年で発団40年になります。

毎年の夏のキャンプ、クリスマス、シンキングディ、募金活動、様々な国内外のスカウトとの交流、そして毎回の集会を通して、たくさんの少女達が、この団から育ち、社会性や奉仕の精神、豊かな人間関係を一人一人が育みながら、巣立って行きました。

現在10団は、万代市民会館、東地区公民館で集会を行い、ブラウニー6名、ジュニア8名、シニア3名、レンジャー5名、スキップ6名、リーダー6名の37名で構成されています。少女会員の減少が残念な所ではありますか、少ないながらも皆わきあいあい楽しく活動を続けています。

今年は、団の40周年にあたるので、団では夏に記念行事を予定しています。

第11団

新潟市鳥屋野地区公民館



こんにちは。私たち11団は、10団から分団して26周年を迎えました。11団は、独自の行事や集会が多いことが特徴です。

まず、年明け最初の行事に初釜があります。この日は、お世話になっている方とお家の方を招いて、スカウトたちがお茶を点てて新年を祝います。お茶菓子はスカウト手作りの桜餅が慣例となっています。

秋は、公民館主催の文化祭でお茶席を任せています。

冬には、スキー訓練があり、コーチを招いて基礎をしっかりと教わります。スカウトの技術に応じてグループ分けをするため、初心者も帰る頃には、全員滑れるようになります。

その他、ふれあい給食・老人ホームへの慰問といった地域のお年寄りの方々と触れ合う集会も多くあります。

これらの集会を通じて、自分を磨き、人に役立ち、自然を愛する心を育んでいます。

第15団

長岡市表町地区公民館



悠久と流れる信濃川と越後平野の中心に長岡市があります。その地で昭和25年、新潟県第15団が発団しました。現在会員数は少女会員30名、成人会員25名です。月2回から3回の集会を行っています。

主な年間の行事は、4月入団式・5月舍營キャンプ・7月野營キャンプ・9月ハイキング・11月ガールスカウトふれあいデー・12月ユニセフ募金・1月新年会・2月シンキングデー等です。

団のポイントは「自然と共に」です。体力と気力と創意工夫の求められるキャンプに重点を置き少女達が協力してのりきる力を養っています。

17年度は団の50周年記念事業としてガールスカウト会館の見学と地震の時にお世話になった埼玉県58団との交流会を予定しています。尚、文部科学省委託事業ガールスカウト子どもの居場所 新潟県（すまいる）子ども教室にも取組んでいます。

笑顔で元気いっぱいのスカウトと若さいっぱいのリーダーが50年間築いてきた団です。

第17団

上越市社会教育館



昭和50年5月18日。ブラウニー6、ジュニア10、成人11の27名。藤本きみ団委員長、発団入団式!!当団の発団により12月に新潟県支部設立となる。翌年には、シニア・レンジャーと全部門を揃えスカウト数増加。

昭和60年創立10周年を記念に高田に姉妹団29団の誕生。公民館で盛大な記念式典を挙行。記念誌すずらん号の発行。岡村フミ団委員長に交代。キャンプ用具が火災に合い大変な苦労をされる。平成4年より委員長渡辺サダ。

平成7年創立20周年記念式入団式を挙行。記念誌ラベンダー号発行。市より表彰される。

主な活動は、キャンプ・募金・老人ホーム慰問・フリーマーケット・市の子どもまつりに参加・上越マーチングバンド発表会の手伝い。支部行事への参加等スカウトとリーダーが一体となり積極的に取組む明るく元気な団。

30周年には記念式典及び心に残る行事をとみんなで意見を出し合って頑張っている。

第18団

巻町公民館



こんにちは!!私たちは海あり・山あり、自然豊かな巻町で活動している18団です。

18団は巻町のガールスカウトとして地域の行事にも参加します。中でも6月の「巻夏まつり」では、私達の鼓隊パレードがそのスタートを知らせる、という大事な役目を果たします。4月の入団式が済むとすぐに練習です。本番は1時間近くのパレードになるので曲だけでなく、歩いたり整列したりと訓練は盛り沢山。きつい時もありますが「来年は小だいこをやりたい」「シニアになったら指揮をやる」と、スカウトにとって団にとっても続けていきたい、大切にしたい活動です。また、秋の「町民祭」は出店することで地域の皆さんとふれあう機会となっています。

県支部と一緒に、18団も生まれて三十年がたちました。スカウトもリーダーも決して多くはなく、課題もたくさんありますが、これからも楽しみながら互いが成長できる場でありたいと思っています。

第19団

長岡聖母幼稚園



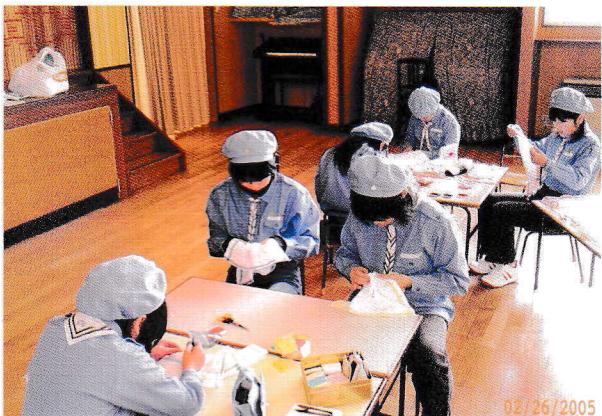
第19団は、昭和51年12月12日に発団しました。長岡市内にある聖母幼稚園で、主に活動しました。

特徴として、福住カトリック教会に属しているので、毎年敬老の日には、老人福祉の為街頭募金を行っています。月1回は料理の時間があり、毎年スカウトは、おひなさまのおすしを作ります。ひな人形のおすしは、父母のみやげにもって帰るので、家族は喜んでいます。その他、ハンドベルや寸劇で楽しい時間をとりました。野外活動の楽しみは、毎年のキャンプです。

平成16年には、ボーイスカウト第10団と合同で、南葉高原で30周年を祝いました。心身を鍛えるスカウトの成長を祈っています。

第20団

柏崎カトリック白百合幼稚園



私共が団認定を受けましたのが、1977年の3月でした。発団式には多くの友団が参加して下さいました。あの日、あの時、制服姿で、笑う・歌う・遊ぶ・規律ある行動が実に美しく、スカウト達は眩しいほど輝いていました。28年間に想い出される活動は沢山ありますが、昨夏の戸隠キャンプは、「良かった！素晴らしい！」と参加したリーダーやスカウト達が話してくれました。自然・困難・仲間との絆という三拍子が揃ったキャンプだったからだと思います。

20団では月3回の集会を行っており、技能修得や夏のキャンプでの星、植物、虫とのかかわりは大切な活動だと考えています。年一回バザーを開き、その資金で老人施設訪問、昨冬は中越地震後の仮設住宅を訪問しました。春には刺し子の台ふきんを持って2度目の訪問を計画しております。スカウトがいのち、輝く活動であることを願っています。

第22団

新津カトリック幼稚園



22団（新津）は、昭和52年7月22（ニイツ）団として当初のカトリック幼稚園園長オスワルド・ミューラー神父様のお力添えで、大勢の方の祝福をうけ、姉妹団である4団の鼓笛隊を先頭に新しいガールスカウトの誕生を迎えました。今年で29年、その間リーダーの不足等で2年間の休団を余儀なくし、筒井開拓委員の熱心な励ましと呼びかけを頂き復団に至りました。今ここに支部設立から30周年を迎え、巣立っていったガールスカウト達が立派な社会人として成長をしている姿を見る時改めてガールスカウト活動の素晴らしさを痛感しています。ガールスカウトの皆さん!!

自分にもっと自信と誇りを持ち、胸をはって歩み続けましょう。そして「日々努力」です。30周年を心からお祝いし、ガールスカウト達の永遠の「笑顔」に『乾杯』



第23団

新潟市坂井輪地区公民館



今年で28回目の団総会を開催するための準備を進めているところです。思い返せば今から27年前、現9団から分団して誕生した団です。

原因是会員数が多いためという、今では考えられない事です。集会日は月4回、その前には必ずリーダー会が開催され、集会内容の確認を先輩のリーダーから指導を受け勉強しました。懐かしくさえ思えます。

現在はその頃と時代が違う（？）と言うことでしょうか。リーダーも少女たちも忙しく、特に中学・高校生になると集会もままならない状態です。

しかし集会をしている少女たちの活き活きとした姿を見ていると、今まで歩んできたガールスカウト活動は、子どもたちに生涯教育であり、自己開発、人とのまじわり、自然とともにの3本の柱を目標とした教育は次の世代を担う健全な少女の育成に最も必要なことだと思います。

第29団

上越市公民館高田地区館



第29団は20周年を迎えました。

多くのスカウトが巣立ち、今は15名の小さな団ですが元気に活動しています。

レンジャー2名は、リーダー以上の力を發揮し、将来が楽しみ。きっとスカウトに好かれるヤングリーダーになってくれると……。

シニア3名は、部活の合間月1回の集会をリーダーと共に、自分自身の可能性を追い求めています。

ジュニア6名はかなり個性が出てき、得意分野がはっきりとしてきました。このまま伸びてほしいと思っています。

ブラウニー4名は一緒にいて飽きることがありません。どの様に成長していくのか楽しみです。

今はリーダーの都合でキャンプが出来ませんが、ディーキャンプ・日帰り旅行はスカウトの一番の楽しみです。スカウトと共にリーダーも成長していきたいです。



私達30団は、平成2年加茂市で発団しました。スカウトは、加茂・田上・三条といろいろな地域から集まっています。加茂は自然に囲まれていて、山や川・スキー場・キャンプ場などがあります。集会は、各部門で月2回位行っています。加茂市の行事もたくさんあり、加茂山清掃・緑の募金とパレード、冬は赤い羽根・冬鳥越スキー場で行われる、雪上レクリエーション大会などにも参加しています。左記の写真は、今年の2月にJrが、みんなで協力して参加した、雪だるまコンテスト部門で今年の干支「酉」を作り入賞したものです。そして加茂はボーイスカウトもあり、年に何回か一緒に楽しく活動しています。又、当団は保護者から、行事や集会等に積極的に協力してもらっています。そして団通信「LaLaLa」もできました。30団は今年発団15年を迎えます。スカウト・保護者・リーダー・団を支えてくださる皆さんとこれからも楽しく活動を続けていきたいと思っています。

ガールスカウト新潟県支部 設立30年シンボルマーク



新潟県支部の永続を願い、30年の数字を図案化しました。

数字にはこんな意味をこめました。

3: みんな  : 笑顔 × 8ヶ: ∞
(8を横にすると)

みんな（スカウト）の笑顔が
ずっと続きますように…

ガールスカウト新潟県第17団
幸 村 幸 美

ガールスカウト新潟県支部設立30年記念事業

平山県知事とスカウトの集い!!

とき：平成16年5月29日(土)

ところ：新潟市大畠少年センター

参加者：シニア、レンジャー 27名

〈目的〉

支部設立30年を迎えた年に、平山征夫県知事を囲み、シニア、レンジャー達が日頃行なっている活動のこと、将来のことなど自由に話す場を設け、知事に活動の一端を理解していただくと共に、スカウトたちには、この集いを契機に自らの目的を確認し、目的に向かって活動するための機会とする。



会では、スカウトたちは少し緊張気味でしたが、知事の前で日頃の自分たちの団の地域での貢献活動や日頃のトレーニングのことなどを発表しました。

知事からも「思いやりの心、奉仕の心をいつまでも持ち続けてほしい。スカウティングで大切な事は何よりも仲間と共に学ぶことができ、友人がいること、これから多くの仲間と頑張ってほしい」と激励されました。



支部長より知事を紹介



斉唱、スカウトの道を選びて

ガールスカウトに期待することは



緊張してます…。



知事になる為にどんな努力を？



各団より活動紹介

支部設立30年記念事業 わっくわく30キャンプ

とき 平成16年8月6日(金)～9日(月) 3泊4日

舍 営 … 国立妙高少年自然の家

野 営 … 戸隠ガールスカウトセンターキャンプ場

参加人員 261人



新潟県中頸城郡妙高村関山6323-2

舍 営 実 施 プ ロ グ ラ ム

時 間	8／6 (金)	8／7 (土)	8／8 (日)	8／9 (月)
6:00		起床・洗面・清掃	起床・洗面・清掃	起床・洗面・清掃
7:00		朝食	朝食	点検・荷物の移動
8:00				朝食
9:00		バス出発 (サブパックに水筒雨具持参)	バス出発 (サブパックに水筒長靴持参)	朝のつどい
10:00	少年自然の家着	川遊び途中キャンプセンター (キャビン) に避難	キャンプセンター着 オープニングセレモニー ・フィールドビンゴ・解決にようり ・スケッチ・のんび~りリラクション	思い出作り 「大切な人へはがきを送ろう」
11:00				
12:00	昼食		昼食	昼食
13:00	閉村式 オリエンテーション	昼食を持って戸隠を出発	・ストーンアート・サイレントウォーク ・大しつぽ取り大会・クラフト	閉村式
14:00	バトロールワーク チーフ・バトロール旗作り	少年自然の家到着	・30キャンプ合奏隊 クロージングセレモニー	少年自然の家出発
15:00		昼食	センター出発	
16:00	おやつ・荷物の移動 少年自然の家探検	自由時間	少年自然の家着	
17:00				
18:00	夕食	夕食	夕食	
19:00	キャンプファイヤー (シニア・レンジャーの応援)	「ペルセウス探索」きもだめし 「ロープワーク」(本結び・棒結び・ 海老結び) 「クラフト」(小枝のもっくん)	キャンドルサービス (室内)	
20:00	入浴	入浴	入浴	
21:00	タッピス	タッピス	タッピス	
22:00				
活動場所	国立妙高少年自然の家	戸隠ガールスカウトセンター	戸隠ガールスカウトセンター	国立妙高少年自然の家



長野県上水内郡戸隠村洞次

野営実施プログラム

時 間	8／6 (金)	8／7 (土)	8／8 (日)	8／9 (月)
6:00		起床・洗面・清掃	起床・洗面・清掃	起床・洗面・清掃
7:00		朝食 チャンスチャンスタイム	朝食 チャンスチャンスタイム	点検 朝食 チャンスチャンスタイム
8:00		朝礼	朝礼	朝礼
9:00				
10:00	センター入所 ウェルカムオリエンテーション	プラウニー入村するが雨のため退村 ミセス・ウェ斯顿祭記念式典参加	プラウニー入村 オープニングセレモニー ・フィールドビンゴ・解決にょろり ・スケッチ・のんび~りリフレクション	撤営 ・炊工具
11:00				
12:00	開村式 オリエンテーション バトロールワーク 仲間つくり	昼食（室内）	昼食 ・ストーンアート・サイレントウォーク ・大しづぽ取り大会・クラフト ・30キャンプ合奏隊 クロージングセレモニー	昼食（弁当）
13:00	資材配給 設営 ・本テント ・クッキングテント ・クッキングクラフト (食卓)	ミセス・ウェ斯顿祭 芸能鑑賞 ・サックス演奏 ・講演「山歩きを楽しもう ～私の山の楽しみ方」 ・戸隠太鼓	プラウニー退村 センター出発	・本テント ・クッキングテント
14:00		夕食準備		点検終了 閉村式 センター出発
15:00				
16:00				
17:00				
18:00	夕食（外注）	夕食	夕食	
19:00	自由時間 バトロールタイム	キャンプファイヤー (室内)	雨天プログラム 「星空さんば」	
20:00				
21:00				
22:00	タップス	タップス	タップス	
	シャワータイム (期間中に2回利用) 16:00～22:00			◎4日間に30種のチャレンジに挑戦する（全スカウト）。

舍 營



ブラウニー全員元気だよ



戸隠キャンプ場まで歩け歩け



スカウト大好きリーダーたち



さあ 出発です



リーダーの話をしっかり聞いてね！



朝礼風景



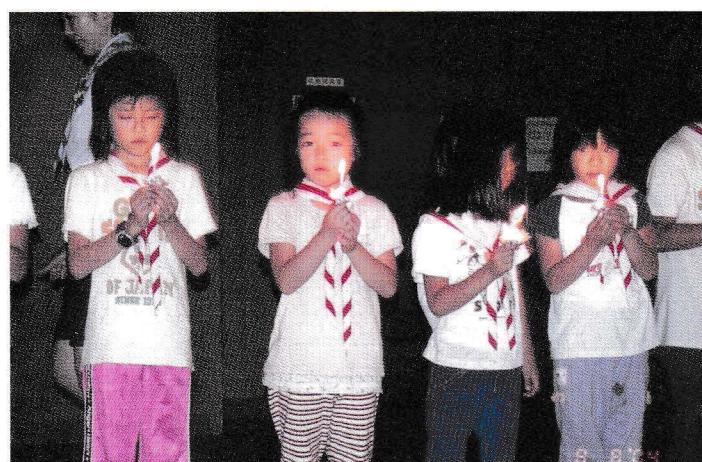
舍管長入場



キャンドルサービスきれいだね



ファイヤー点火



キャンドルサービス 消えないように



ゲーム開始 “ジャンケンポン”

キャー 冷たーい



みんなで水遊び



うまく
書けたよ！



何か見つかったかな？



楽しいね、ロープ結び！



こうやってこう結ぶ。しっかりおぼえようね。



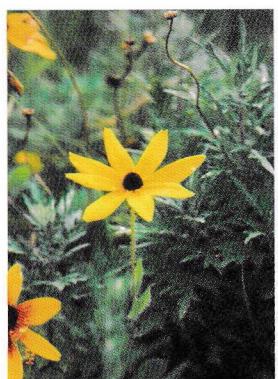
みんなの力作です



いっぱい遊んで、おいしいお昼



みんなチョット疲れたかな？



戸隠キャンプ場
すてきな花

しっぽとりゲーム



楽しかった支部キャンプ



友情の輪

野 営



キャンプ場に陽が昇る



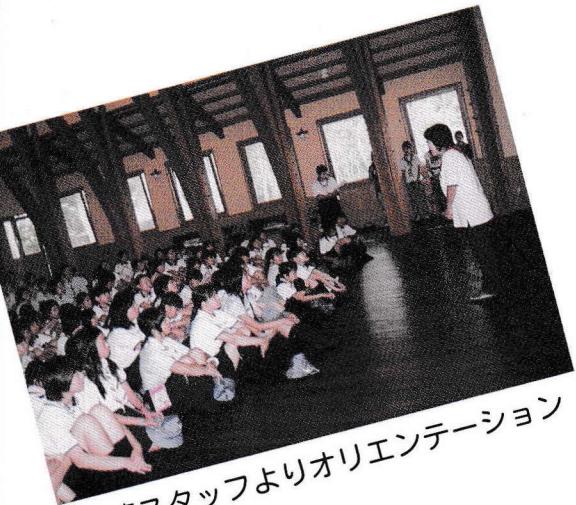
赤い屋根のキャンプセンター



旗上げ準備



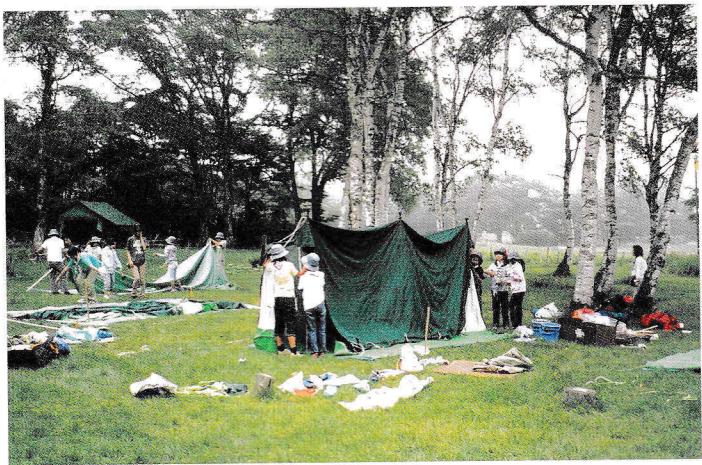
野営長挨拶



日連スタッフよりオリエンテーション



3泊4日どうぞよろしく



さあ、設営開始！



テントを張って“ちょっとひと休み”



配給資材確認



今日のメニューは？



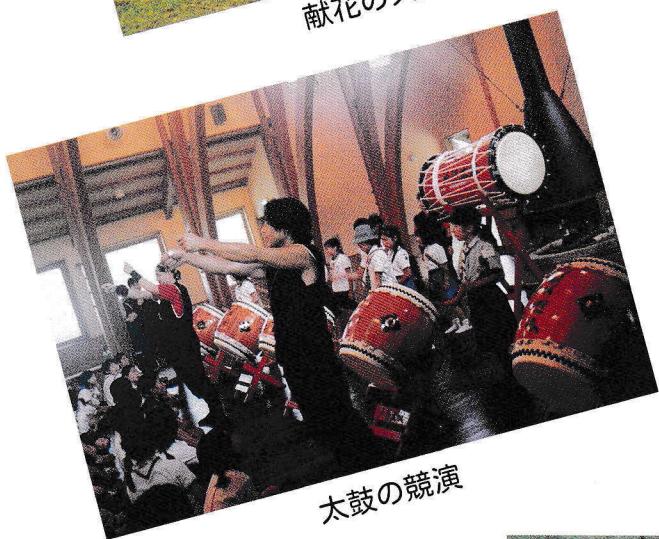
ミセスウェストン祭 献花する日連 小平副会長



献花のスカウト



雨の中で美しいハーモニー



太鼓の競演



へっついで
上手く火がつくかな。



おいしく出来たよー。



どんな絵が出来るかな？



ペグもしっかり洗って



日連のきびしい点検



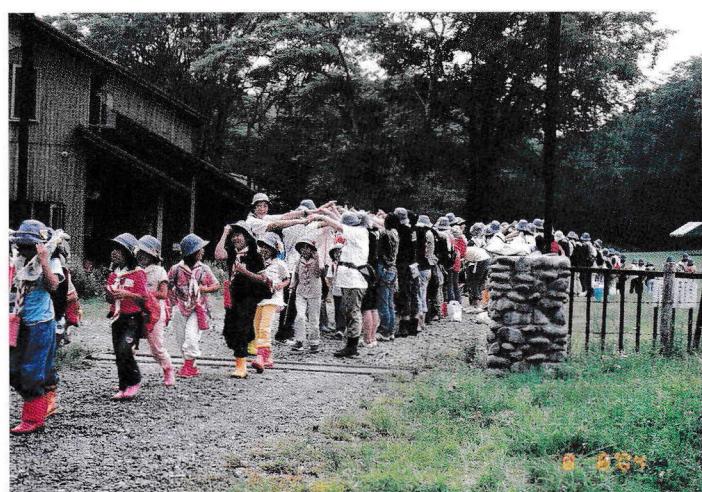
スカウトの笑顔 No. 1



ゆったりした時間が“流れる”



つかの間の太陽に寝袋を干そう



さよならブラウニー “長いアーチをくぐって”



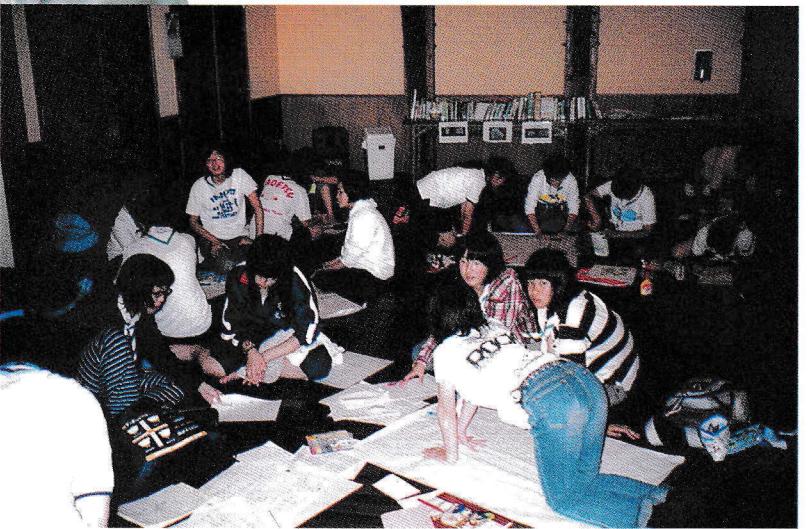
楽しかったよ みんなで “ピース”



戸隠のシンボル “おおばゆり”



このゲーム
ブラウニー・ジュニアは喜んでくれるかな？



シニア、レンジャーのプログラムづくり

楽しかったキャンプの思い出!!



第8団ジュニア 田中萌恵

30周年キャンプにさんかして私が、一番楽しかったと思ったことは、8月8日にやったS r・R r プログラムでいろいろなゲームをしたり、いろいろな物を作ったりしたところです。ほかにも、ミセス・ウエ斯顿祭では、ミセスウエ斯顿パークの記念式典で歌をうたったことや、いろいろな講演を聞いたり、いろいろな、音楽をきいたりしたこと、キャンプファイヤーで、私たちの班は、出し物で「世界に一つだけの花」を歌って、ぜんぜん練習をしていなかったのに、たぶんうまく歌えたと思うのでよかったです。ほかの班の出し物もすごくおもしろかったです。

ほかの団とキャンプするのは、はじめてだったけど仲よしになれたのでよかったです。

第1団シニア 五十嵐聰子

このキャンプで、私は初めて経験したことがたくさんありました。ブラウニーのファイヤー

やミセスウェ斯顿祭の参加など、戸隠でないとできない事もいくつかあり、「参加してよかったです」と改めて思います。

キャンプ場では、常に自然を大切にして過ごしていたようにも思えて、まるで自分が自然の中の一部になった気分にあり、とても大切な事を知らず知らずの内に学んでいました。

30周年という節目のキャンプを、とてもステキなキャンプ場でたくさんの仲間と過ごせたことは、自分にとってとてもいい経験となり、これから多くの活動にも役立ってゆくと思います。

第10団ジュニア 渡辺菜々子

「シニア・レンジャーはすごい。」これが私の戸隠キャンプの感想です。大雨が降り、私達の弁当のからを集めたり、テントの片付けをしたりしてくれているシニア・レンジャーの姿がとても印象に残っています。土砂降りの中、一生懸命にリーダーと一緒にキャンプの後片付けをし、自分のことより人のことを優先していて、

すごいと思いました。

私は来年シニアになります。今年のキャンプでシニア・レンジャーから学べたことを、来年からどんどん生かしていきたいです。

第9団レンジャー
山際 真帆

今回のキャンプで初めて他の団と一緒に活動しました。知らない人ばかりの中で3泊4日も出来るだろうかと、前日はとても不安でしたが、すぐにみんな仲良くなりました。

私が一番心に残っているのは、シニア・レンジャーのプログラムとキャンプファイアです。私はスケッチを担当し、キャンプの少し前から計画していました。大変だったけど、ブラウニーが笑顔で絵を見てくれた時は本当に嬉しかったです。キャンプファイアは雨の為に残念ながら屋内でしたが、ジュニアからリーダーまで歌って踊って楽しんでいました。みんな多数でのキャンプファイアは初めてだったので、迫力に驚きました。

このキャンプでは、たくさんの感動を味わいました。企画が成功した時の笑顔や風雨に負けない努力は忘れる事が出来ません。参加した皆さん、本当に有難うございました。

第10団シニア
渡辺由里

とがくしのような山へ行って3泊4日もキャンプをするのは初めてだったのでとても緊張していました。1日目、パトロールの人達と顔合せをし、テントをたて、食事を作り、これから3日間に必要な基本的なことをしただけなのに早くも疲れ家へ帰りたい、というよりは山を

降りたいと思いました。しかし2日目になると慣れてきて、虫も平気になり、それなりにテント生活も体に合ってきました。それでもやはり疲れがたまりだらだらとテントに戻ろうとした時、夜で真っ暗な空を見上げると、疲れがふっ飛ぶような星空が広がっていました。まるで星空を描いた板にバリバリッと顔をつっこんだみたいでした。あの感覚は一生忘れません。本当に感動しました。

3日目は残念ながら大雨が降りせっかくもつてきた長くつもビチョビチョになってしまいました。その日の寝る時は明日帰れる喜びをかみしめながら雨の音を聴いていました。ついに4日目、テントからはい出ると今まで見たことのない濃くて深い霧がかかっていました。3メートル先も見えず、夜の、目にはりつくような黒とはまた違う不思議な光景でした。あまり知識はないのですがその時、この霧は昨日の雨のおかげなのかな、と思い、昨日の苦労もいい経験だと思いました。その日のイベントで私はスケッチの係で、参加してくれる人にあげる小さなえび結びのキーホルダーの作り方を覚えることができましたし、見本として作った私のスケッチと額をどこかのリーダーが気に入り、もらっていてくれたというのがとてもうれしかったです。閉村式を終えバスに乗りこみひと息つくと、帰りたい気持ちより、今回のキャンプで自分が強くなったという気持ちの方が大きかったです。今回のキャンプは正直あまり楽しいというものではありませんでしたが、とてもこれからの方になる貴重な体験ができたので良かったです。

第15団ジュニア
本間 美沙子

私は30周年のキャンプで、いろいろなことを体験した。

大嵐の中での野外活動、他団の人との生活な

どだ。中でも嵐の中での野外活動は、雨が滝のように降ってきて、テントがたおれるのをふせごうとして、大変だった。

けれどもその後に「自分はがんばった」と思えて、ほこらしい気持ちになれたことは忘れられない。

いろいろなことがあった30周年キャンプ。多くのことを学べた。

第15回レンジャー
石 黒 裕 子

私が今回のキャンプで学んだことは、何事もためらう前に、まず自分から進んでやってみる事が大切だということです。

私は今回、旗手を初めてやりました。最初は旗手のおおまかな動きすら忘れていたので旗手をまかされるなんてとんでもないと思っていました。

しかし、リーダーや仲間にすすめられているうちに一か八かやってみようという気になり、本当にめちゃくちゃながらもやることができました。

それからキャンプの中で何度も旗手をする機会を与えてもらい、上達することができ、これだったら初めから自分ですぐに進んでやれば良かったとつくづく思いました。

これはどんな事にも言えることだと思うので、自分のためにこれからどんどんやっていきたいと思います。

第11回シニア
滝 泽 佳 奈

入団した時から、行ってみたいと思っていた「戸隠キャンプ場」で新潟県支部30周年記念キャ

ンプに参加でき、たくさんのこと学び、体験できました。

他の団の人達とパトロールを組み、協力し生活しました。時には意見がくい違い、気まずくなったりもありましたが、話し合えばわかり合えるのだと喜びました。

また、自然のすばらしさ、恐ろしさを改めて感じました。私が住む場所からは小さな光でしか見えない星も、澄んだ空気のキャンプ場からはとても大きく美しく輝いていました。山の気候の変化の激しさにも驚きました。滝のように降る雨、強い風。嵐のような風にテントが倒れ、下じきになった時は、何がなんだかわからず、どうしようかと思いました。

しかし、こういう体験はふだんの生活の中では味わえないものなので、忘れられない思い出になると思います。

第17回レンジャー
田 下 亜祐美

初めての戸隠キャンプ場。キャンプ場といえば“汚い”と言うのが私の印象でしたが戸隠は違いました。とっても緑が綺麗でホールの中は暖かく感じられ、とても素晴らしい「これがキャンプ場なの?!」と思いました。また生ゴミが肥料として再利用されるとはさるがガールだなとも思いました。

今回のようなひどい雨の中のキャンプは初めてでした。雷や豪雨は怖かったけどその分みんなと団結する事ができました。

3泊4日の期間にはたくさんのプロジェクトがあり、みんな頑張ってチャレンジしていました。私は2つの司会を勤めました。

最後の最後にペグを無くしてしまってもみじめな思いもしました。今後「物を無くす」と言う事がないように一人一人が責任を持って行動できるといいなと思いました。今回のキャン

ではたくさんの友達ができ、心に残る思い出も多くできました。

あ!!流れ星も見れて嬉しかったですっ♪

第17団ブラウニー
田 中 英理子

キャンプで私が一番心にのこった思い出は、1日目で友達がたくさん作れたことと、さいごに、みんなとわかれた時のことです。

私が、みんなとへやに入った時に、すぐ友達どころか、アイボウとよべるたくさんの仲間ができ、とてもうれしかったです。

でもキャンプさいごの日に、閉村式が終わって、アイボウ達とわかれの時、さみしかったです。けれどもブラウニーさいごのキャンプ3泊4日の時に、いっしょにいろんな活動したのでうれしかったです。

第23団ブラウニー
太 田 綾 菜

思い出にのこっている事は、キャンプファイヤーです。今まで知らなかった、歌やおどりをたくさん教えてもらいました。やさしいリーダーといっしょにおどれて、楽しかったです。それから、宿舎の部屋でほかの団の友だちといっしょに、夜、おばけやしきごっこをしたのが楽しかったです。

もう一つ思い出にのこっている事があります。水遊びをしていたらきゅうに雨がふってきました。それで、バスていみたいな所で雨やどりをしていたら、そばにいたおじさんが私のせなかにタオルを入れ、あったかくしてくれました。おじさんの気持ちがうれしかったです。

第20団ブラウニー
植 木 茉 由

わたしは、にいがたけん支部設立30年記念キャンプへ行って、楽しかったこと、うれしかったことがたくさんあります。

その中でも、一番うれしかったことは、他の団の人と友だちになれたことです。キャンプファイヤーやきもだめしなど、チームをくんで、いろいろなことをしました。いろいろなことをしたから、友だちになれたのかな、と思いました。また、こういうキャンプがあったらさんかしてみたいと思います。この夏の一番の思い出になりました。

第11団ブラウニー
森 希 美

わたしは、キャンプの時に、パトロールぎめが、一番ドキドキしました。パトロールリーダーになって、よかったですけど、大変でした。

1日目は、部屋が、リーダーの部屋のとなりでびっくりしました。パトロールの人ともなかなかよくなれて、よかったです。夜は、なかなかよくねむれませんでした。

キャンプファイヤーは、とても楽しかったです。シニア・レンジャーの人たちの歌も楽しかったです。「コンパクト」や色々ありました。

川に行った時は、つめたくて、きもちよかったです。大雨がふってくつがドロドロになりました。なので新しいのをはきました。

4日目の時は、「あっというまだったなあ」と思いました。とても楽しいキャンプでした。

第9団ブラウニー
小林舞子

わたしは、今年の8月キャンプに行きました。一番の思いでになったのは、キャンプファイサーと川遊びです。キャンプファイサーでは、火のまわりにみんなで丸くなれたことがいい思いでになりました。川遊びではささぶねを作つて川にながしたり、川の中に入つて遊びました。でも、とちゅうで大雨がふつてきました。山の天気はかわりやすいと思いました。でもたのしかったです。らい年もいきたいです。今年はいい思いでがたくさんできてよかったです。

第9団ブラウニー
戸田あすか

わたしがキャンプで一番うれしかった事は、たくさんの友だちができた事です。はじめは、3日も一人で、とまれるかとても心配でした。でも、わたしたちのグループは夜、シーツをかぶつておばけやしきごっこをして新しい友だちとすぐになかよくなれました。

雨がふつてびしょぬれになり、寒かったけれど、みんなといっしょだったので、がまんできました。ゲームや工作、みんなで歌つておどつたキャンプファイサー、川遊び、とがくしキャンプは、たくさんの思い出がいっぱいです。また、みんなでとがくしキャンプに行きたいです。

第1団ブラウニー
えんどうまゆ

8月6日から9日まで、みょうこう自ぜんの家に、いきました。わたしの心に一番のこつている事は、川遊びのことです。パトロールの

みんなで川に入つたら、とてもつめたかったです。きれいな石をさがしたり、ささ舟であそんだりしました。しばらくすると、空の色がだんだん暗くなつて雨がふつてきました。そして雷もなりだして、とうとうどしゃぶりになつてしましました。大雨の中キャンプ場に、つくころには、みんなびしょぬれでした。とてもさむかったです。このキャンプでは、このほかにも、いろいろなことが、ありました。たくさんの思い出とたくさんの友だちができてとてもいいキャンプでした。

第29団ジュニア
斉藤かなこ

6日、私は最初いろいろな団が混ざつたいろいろなパトロールがありびっくりしました。友達を自分から作るのが苦手なので、みんなうまくやれるか少し不安でした。

昼、私たちのパトロールは、あまり話をする事はありませんでした。ですが夜になり少しずつ話ができるようになりました。だんだんと話がはずんで、私は、「これなら、みんなうまくいくかも」と思いました。

7日、目がさめたら、テントの中は、雨もりしたようにびしょびしょでした。私が立つたらテントに付いていたしづくが、ぱらぱらとたれてバックや服にかかつたりして、朝から大変でした。これがあと2日も続くと思ったら少しだけ、「今日でキャンプが終わりだといいなあ」と思つてしましました。楽しみにしていた、ミセス・ウエストン祭や、キャンプファイサーも、雨のせいであまりおもしろくなかったので残念です。

8日、星空さんぽのある日でした。私は星が好きなので楽しみにしていました。でも残念なことに雨が降つてしまい、中でお話を聞くだけになつてしましました。

私は友達と、「明日でお別れだね」と話をしました。今、思い出してみると昨日までは「短く」だったのが、「長かったらなあ」に変わっていました。「明日でお別れかあ、また会えるかなあ」とも思いました。

9日、最後の日なので、テントのかたずけなどをしました。午後になって少しすると、雨が降ってきてしまい、残りのかたずけはリーダーたちがしてくださいました。閉村式が始まる前ぐらいには雨は、やんでいました。

わくわく30キャンプは、長いようで短い感じがしました。雨が降ったり、クッキングテントがたおれたり、いろいろあって大変でしたが、いい思い出ができたと思います。

第30回レンジャー 諸 橋 未 樹

私は、この支部キャンプで多くの事を学び、初めての経験をたくさんし、そしてたくさんの友達が出来ました。1日目は、ブラウニーのキャンプファイヤーの手伝いをしました。初めてのことで、みんな盛り上がってくれるか心配でしたが、すごく楽しそうに歌ったり踊ったりしてくれて大成功でした。とても嬉しかったです。もう一つ貴重な体験をしました。それは、天気についてです。戸隠は、天候の変化が激しく8月にもかかわらずヒョウが降ってきました。風も強く、食堂フライは飛び、雨がやんだ後の片付けが大変でした。でも、それによって得たものも大きく、大自然の中でのキャンプを体験することができました。そして色々な団のたくさんの友達ができ、それぞれの団の情報を交換しました。楽しかったです。このキャンプで私は一回りも二回りも大きく成長できました。楽しかったです。

第29回シニア

八 田 真里杏

私はこの30周年の支部キャンプに参加しました。そこでさまざまなことを学んできました。この中から2つ紹介しようと思います。

1つ目は、時間についてです。私は団だけのキャンプに参加した時も、このキャンプに参加した時も、何かの集合時間におくれてしまっていました。タップスの集合時間におくれてしまっていました。いつも友達をまっていたり、自分のことをやっていたりしておくれてしまいます。何度か直そうとしても直りません。もう中学生なのでいいかげん直すように努力したいです。

2つ目は友達についてです。私は友達に話すというより話してもうらうのをまつという方なのでなかなか友達ができません。今回のキャンプでも友達に話しかけられず、困っていたら相手の方から、

「何団なの?」「名前は?」
などと聞いてくれました。みんながそんな風にがんばっているので、私も自分から
「学校どこ?」「何年生?」
などと、きける様になりました。このキャンプがおわって、学校でも大きな声で発言できる様になりました。

私はこのキャンプを終えて大きく成長したと思います。時間のこと、友達のこと…。さまざまなことが学べたのでとても良いキャンプになったと思います。失敗することもあったけどとても良い経験になりました。今、このキャンプで友達になった子と文通をしています。この友達とは本当に初対面だったけど今は遊ぶことも考えているくらいです。この調子で友達の輪を広げていきたいです!!本当にキャンプ、楽しかった!!!

第22回ジュニア

辰 喜 光
坂 本 玲 奈

わたしたちは、ほかの団のガールスカウトとキャンプをするのがはじめてだったので、とてもきんちょうしました。ほかの団の人はとても仲よくしてくれました。わたしたちは同じパトロールになれなかったけど、友だちがたくさんできて、よかったです。わたしたちは、3パトロールと4パトロールで、会うきかいが多かったけど、なかなか話すきかいがあまりなくて、残念でした。一番心にのこったことは、ごはんをつくるとき、こげてしまったことです。でもおいしかったです。わたしたちは、キャンプファイヤーで、「世界に一つだけの花」と「かえるの歌」の替え歌を歌いました。とても面白い歌だったので、おもわず、笑ってしまって歌えませんでした。歌い終わったときも笑いがともらなかかったです。かみなりや雨で大変だったけれど、他の団のお友達やリーダー、同じパトロールのお友達といっしょに、3ぱく4かすごせて、よかったです。いっぱい思い出ができました。

第18回シニア

土 田 梢

今回の30周年キャンプでは、いろいろなことを学びました。まず1つ目に学んだことは、へつついの使い方です。紙で説明はされていましたが、使うのは初めてだったので今回のキャンプで使い方を学びました。

2つ目に学んだことは、旗上げです。今回初めて旗上げをやらせてもらいました。1回目はまちがってしましたが、2回目になんとか成功したので良かったです。もしこれから旗上げをすることがあったら、このキャンプを思い

出してやりたいと思います。

今回のキャンプでは、たいへんなこともたくさんありましたが、その分学んだこともたくさんありました。それにこのキャンプをとうして友人もたくさんできました。今では、文通をしている人もいます。この体験は、良かったと思うので、またこのようなことがあったら、積極的に参加したいと思います。

第18回ジュニア

小 林 優 衣

私は、戸隠に初めて行きました。すごく自然がきれいでした。たくさんの木があってその中で私は白樺の木を初めて見たのですごいと思いました。

行く前の日は、いろんなイベントがあって楽しそうだなあと思ったり、ちょっと大変そうだなあと思ったりもしました。でもパトロールの人達も明るくてよかったです。イベントは、シニア・レンジャーの考えた『30周年だよ！全員集合』が一番楽しかったです。あと、ミミちゃんという足長グモやいろんな虫がいたり、生ゴミのしょりをやったり、カートンドックを作ったり、初めて体験したことばかりでした。新しく、なたの使い方やうたなども覚えました。大雨がふって、少しイベントが少なくなって残念でした。

大変だったけどいろんな体験がでてよかったです。



支部設立30年記念式典

とき

平成16年10月10日(日)

ところ
新潟市民プラザ 6 F
(NEXT21)



記念式典次第

開式のことば	支 部 長 挨 捶
来 賓 入 場	来 賓 祝 辞
旗 入 場	祝 電 披 露
旗 に 礼	感謝 状 贈 呈
君 が 代 齊 唱	スカウトコール
物 故 者 に 黙 祷	旗 に 礼
や く そ く	閉 式 の ことば
やくそくの歌	



スカウトのみなさま

今子ども時代に
集会を休まず続けること
自然の中ですごすこと
いろいろなことに挑戦すること
楽しいことも楽しくないことも経
験すること
いっぱいあそぶこと
いっぱい勉強すること
人はなしあつこと
他の人のことを考えること
こんなことが子どもにはとっても
大切です
そしてガールスカウトを続けると
こんなことがみんなできますね
たのしく活動をつづけてください

(東山会長の祝辞より)



日連会長お祝いの言葉（代読 小平副会長）



名司会 レンジャースカウト



18団のすばらしい
鼓笛隊





感謝状贈呈

〈スカウトコール〉 抜粋

わっくわくキャンプは
雨がいっぱい降ったよー。
晴れたときのお星様きれいだった
10年続いたピースパック
7年間かけて集めたブルタブ
皆の協力があったから贈ること
が出来ました。
夢ハガキ～10年後の私はどうなって
いるでしょうか
これから努力によって夢が10年後
には実現していることを願います。
皆の夢をつなげよう未来へ!!



来賓の皆さんと



“やくそく” 嶸肅に



30年をお祝いする
会場いっぱいのスカウトたち

みんなの思い
“10年後の手紙”



わー 写ってるよ



スカウト大好きだよ

あとがき

(社)ガールスカウト日本連盟新潟県支部設立30年を迎え、その記念事業の一環として記念誌を発行いたしました。

ささやかなものではありますが、人的にも財政的にも多くの問題を抱えて来た中で先人の御苦労、感動を振り返りその時代、時代のリーダー、スカウトの皆さんの記録を少しでも形にとどめ、継承していただければと念じ編集いたしました。そして改めて30年の歩みを感慨深く振り返ることが出来ました。

この誌の内容は、設立30年の記念事業を中心にいたしましたが、歴史の一つの区切りとして、また新しい時代へつなげていく一つの礎として御理解いただければ幸いです。

最後に記念誌の発行にあたり、御協力くださった方々に心より感謝申し上げますとともに今後も変わらぬ御支援、ご鞭撻くださいますよう宜しくお願いします。

平成17年10月

記念誌部会一同

つなげよう未来へ

ガールスカウト新潟県支部
設立30年記念誌

印刷発行：平成17年10月

編集発行：(社)ガールスカウト日本連盟
新潟県支部

印 刷：(有)東新印刷
TEL 025-241-2700

